

会 議 録

【事業番号4 パソコンサロン運営費】

- 1 会議名 平成30年度第2回市民行政評価委員会
- 2 日 時 平成30年11月7日(水)午後2時45分～3時10分
- 3 場 所 兼六会議室
- 4 出席者

(1) 市民行政評価委員会委員

岡田委員長、坂下委員、山崎(純)委員、山崎(陽)委員

佐々木委員、竹下委員、林委員、三原委員、村上委員

(2) 事業担当課(長寿福祉課)

山下課長、浦主査

(3) 事務局(行政経営課)

津田課長、松本課長補佐、二木係長、古谷主査

5 審議内容

評価委員：利用者数が減少している原因は何だと分析しているか。

(事前質問)

事業担当課：[鶴寿園の減少要因について]

平成28年度に泉中学校の改築に伴い、同中学校内に配置していた泉パソコンサロンを老人福祉センター鶴寿園内(額谷町)へ移転させた。泉パソコンサロンは、立地条件にも恵まれ、4つのパソコンサロンのうち最も利用者数が多いサロンだったが、鶴寿園への移転で交通アクセスが悪化したことなどにより利用者が減少したものと考えている。

[松寿荘の減少要因について]

平成27年度に金石パソコンサロンを金石中学校内から老人福祉センター松寿荘内(金石北3丁目)へ移転させた。当該移転では、移転先の部屋が狭くパソコンの設置台数を減らさざるを得なかったことが、利用者数の減少要因になっていると考える。

(14台→10台)

[その他の減少要因について]

平成29年度は、大雪の影響により1～2月の利用者数が各サロンにおいて前年に比べ大幅に落ち込んだこと(対前年度比41.3%減)が減少要因として挙げられる。

[本市の見解]

各サロンに設置してあるパソコンの稼働率は概ね70%を超えており、サロンの移転など状況の変化がある中で、利用者数は減少しているものの、概ね適正な利用者数を確保しつつ利用者ニーズに沿った運営ができていると考えている。

- 評価委員：パソコンサロンは教室ではなく、ある程度パソコンに対応できる人が利用するということをお聞きしたが、私どもそうだが、ある程度わかっているつもりでも実際なかなかその操作の中で不便なことが起こったりする。各サロンにはインストラクターという人たちではなくてサポートをする職員がいらっしゃるということか。
- 事業担当課：2パターンの方がいる。
- 評価委員：利用者側にしたら足りているというか。
- 事業担当課：足りている。
- 評価委員：どのような方がこのパソコンサロンを利用しているのか。
- 事業担当課：1つはまずパソコンに興味がある方で、年賀状の作成や旅行写真を加工したりなど、皆さんと和気あいあいとし、仲間ができその場を利用されている方。もう一つは初めてパソコンを触られる方が少なからずやはりいる。少し習いたいけど教室に行くまでにはならないという方は、インストラクターとサロンでパソコンをずっと触っている高齢者の方がボランティアでサポーターとして入っていただいているので、その方々のサポートによりパソコンを使われている。大きく分けるとこの2つの方が利用者として多い。
- 評価委員：年賀状もカラープリントできるのか。
- 事業担当課：3枚だけ試し刷りだけできる。後は、データは持ち帰り、ご自宅で印刷していただくことになっている。
- 評価委員：教室のような何でも教えてもらえるということか。
- 事業担当課：教室のようにテキストに沿って教えていくということは、基本的にはない。
- 評価委員：プラス親睦もあるということか。私の知り合いが「サロンに行ったが、雰囲気あまりよくなかった。」と言っていた。やはり何回も通っている方はサロンで場を仕切ったりしているそうだ。知り合いは教室なので何でも教えてもらえると思って行ったのだと思う。
- 事業担当課：本市の考え方として、教室ということになると民間があるので、

そこに出来るだけお任せをしたい。ただ、全く親睦だけでは難しいということもあるが、教室をメインに置くことは今のところ考えてはいない。また、馴染みの方が多くなってくると、新しい方が入りにくくなるので、管理者には常に新しい方に声かけを出来るだけ多くしてほしいとお願いしているが、なかなかやはり馴染みの方が多くなってくると厳しさが出てしまう。今は基本的には二交代制をとっており、同じ方が一日中居ないようにしている。

- 評価委員：パワーポイントなどを教えているところは、違う部署の事業か。
- 事業担当課：今教えているところは、金沢市シルバー人材センターが此花で、有料でパソコン教室をしている。そこは高齢者向けの事業として、1つの民間事業と同じように収益事業としてやってる事業になり、私どもとは別物ということになる。
- 評価委員：お年寄りのパソコンを介しての生きがい作りの場の提供が一番の狙いだということだが、予算の1,185万の内訳はインストラクターの費用なのか。
- 事業担当課：大部分は、4つのサロンにインストラクターがいるので、その費用である。まちなかパソコンサロンについては、市の施設ではないので、ライブ1地下一階の賃貸料も生じている。
- 評価委員：金石と鶴寿園はその管理者の職員が兼務しているのか。
- 事業担当課：建物の管理者と兼務をさせている。インストラクターは別にいる。まちなかパソコンサロンについては、管理者とインストラクターがいる。ほかの施設は公の施設で管理しているので、その管理費については経費として削っている。
- 評価委員：先程の話であるが、特定の人が集まって人間関係が難しいとのことだが、4カ所に限られているため、当然そのようなことが起きる。そこに通いやすい人だけが通い、メンバーが固定されるのだと思う。例えば、同じインストラクターの費用を捻出して、金沢市には多くの公民館があるので、そこで地域の人が運営し、パソコンではなく、スマホが主流となっているので、スマホを介してお年寄りが集う場を提供ということはできないのか。
- 事業担当課：確かに最近スマートフォン、タブレット、こういったものの利用がだいぶ高齢者の方にも増えてきて、使いにくいといった話も良く聞くが、今の話だと、やはり教室に近づいてくるように思う。今、高齢者の方が多くなってきて、そのような事業も考えないわけではないが、教室との整理を常に意識していることもあるた

め、今のところすぐやるという予定は無い。

なお、千寿閣については、今まで市の事業としてパソコンサロンをやってきたが、今年度実施した来年度以降の指定管理者の公募選定に伴い、来年度以降は、指定管理者の事業として、市の事業から離していこうと考えている。2年後には鶴寿園と金石についても指定管理者の事業に切り替える予定であり、残るのは、おそらくまちなかパソコンサロンだけである。このように市の事業から離れ、指定管理者の事業となった際には、もしかすると、教室として、また地域連携の中で公民館に出向くことも無いわけでは無いと思っている。今すぐ、各地区へ全部スマホを持って行くことはなかなか難しいと考えている。

評価委員：もちろん趣旨はわかるが、お年寄りで困っている人は、本格的に教室へ通うまでもなく、ちょっとしたことで引っかかっている。そういう人たちの層というのは、信じられない程数が多い。それがすぐ身近の場所で、2分か3分教えてもらえば、解決できることを、各地域単位の公民館などを利用して出来たら、一番住民サービスとよいことである。

評価委員：立地についてだが、老人福祉センター（鶴寿園）に移転したことにより、利用者が減ってしまったとの事例があったが、老人福祉センターの利用促進の効果も期待しているのか。

事業担当課：適地があればもっといい場所で開所したかったが、泉パソコンサロンの場合は、近くに適地がなかったことが一番大きい。市の所有する施設がそばに無く、図書館等という選択もあったが、そこへ持って行くのは難しく、最寄りの大きな高齢者が利用する施設となると鶴寿園（額谷町）となった。これまで学校の空き教室を比較的使って普及してきたが、空き教室がだんだんと減ってきている。

評価委員：より広い利用を促すのであれば、まちなかに置くことも考えられたが、福祉センターの利用促進で、そちらに移動したのかと思った。そういうことを意識して移している訳では無いのか。

事業担当課：そうではない。以前にもこの事業については市民行政評価の対象になったことがあり、経費が少しかかり過ぎていると指摘があったので、新たな民有地の建物を借りて行うことはしないと決めていた。出来るだけコストを押さえつつ、現状のものを残していこうとしたときに、まず市の市有施設の利用が前提であった。性格上、老人福祉センターがベストではないかということで選んだ

事業番号4 パソコンサロン運営費

が、結果として利用促進が図られている部分が少なくないと思う。